

CSR REPORT 2021

茨城トヨペット CSRレポート 2021



Toyopet

茨城トヨペット株式会社

本社 / 水戸市千波町2028-1 <https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/>

本社 お客様相談テレホン  0120-309567

※この番号は本社(水戸)に通じます。車検・整備等のお問合せは、お店にお電話下さい。
受付時間: AM9:30~PM5:30(土・日・祝 ~PM6:00)



CSR REPORT 2021

CONTENTS

02 We Are Smiling!

マスクの下は笑顔です!
我々2020年度入社組



04 Top Message

今こそ、メンバー全員の力が
必要不可欠。



06 CSR基本方針 環境方針 労働安全衛生方針

茨城トヨペットが
実践するCSRの3本柱



07 History of 65years

茨城トヨペット 65年の歩み



14 With The Staff

イキイキと働ける
環境を作るために



15 Society & Global

持続的な発展を
実現する社会をめざして



16 With The Community

これからも、地域に密着した
企業市民として



18 For The Earth

地球環境の保護と
豊かな社会を実現するために



22 Corporate Information

会社概要



24 Message From Readers

お客様から寄せられた
ご意見・ご感想



編集方針

本レポートは、茨城トヨペット株式会社のCSR(企業の社会的責任)に関する取り組みを、“お客様”“地域の皆様”“取引先”“社員”の4つのステークホルダーの皆さまに対しわかりやすい報告となるよう努めました。

会社創立65周年となる今年は、茨城トヨペットの65年のあゆみを中心とした特別編集号となっております。

CSRの取り組みは、皆さまとの対話なしには成り立ちません。本レポートをコミュニケーションの一助としてお読みいただき、添付のアンケートはがきからご意見をお寄せいただければ幸いです。

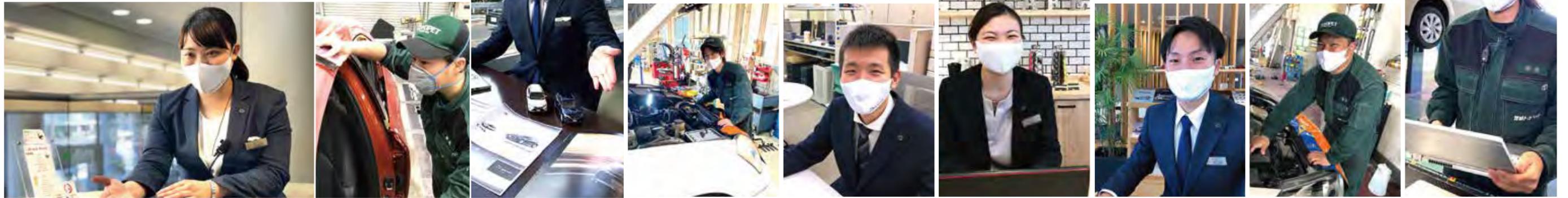


We Are Smiling!



マスクの下は笑顔です！我々2020年度入社組

混乱するコロナ禍での社会人生活のスタートとなった、2020年4月入社の茨城トヨベットの若き精鋭たち。誰も経験したことのない激動の1年を乗り越えて“新人”を卒業し、輝く未来へと大きく羽ばたこうとしています。今日もマスクの下は満面の笑顔です！



Corporate Social Responsibility

企業の社会的責任

私たち茨城トヨベットの、持続可能な開発をテーマに、法規制の遵守などにとどまらず、自主的、積極的かつ継続的に環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを定めた国際規格「ISO14001」の認証取得に県内でもっとも早く着手してきました。

ISO認証取得活動取り組みから18年が経過しましたが、私たちがすべきことはまだまだたくさんあります。

そして2006年からは、環境問題はもとより、あらゆるステークホルダー※を重視した経営が重要だと考え、「企業の社会的責任=CSR」に取り組んでいます。

これからも地域社会から信頼される企業市民として成長を持続できるよう、お客様、地域社会、取引先、茨城トヨベットのメンバーなど、すべてのステークホルダーを重視した経営を実践いたします。

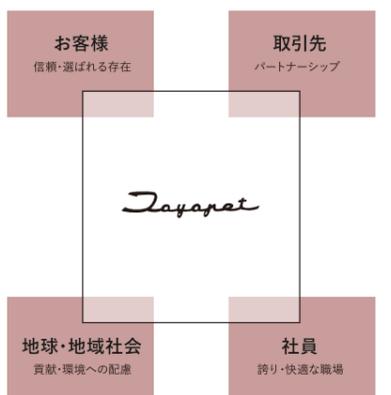
※ステークホルダー：企業に対して利害関係を持つ人のこと。お客様や社員、株主だけでなく、地域社会までも含めていう場合が多い。

Four Stakeholders

4つのステークホルダーから必要とされるために

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、企業として適切に応えることです。

私たちにとって社会的責任を果たすこととは、お客様、地球・地域社会、取引先、社員の4つのステークホルダーのニーズを満たし、満足度を高めることと考えています。企業価値を高め、「地球・地域社会から愛され、選ばれる存在・必要とされる存在」であり続けるために、社会とともに持続可能な発展を目指します。



Top Message

今こそ、
メンバー全員の力が
必要不可欠。

茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長

幡谷 定俊



「茨城トヨペット CSRレポート2021」をご覧いただきありがとうございます。

はじめに、この度の新型コロナウイルス感染症対策の為に、最前線で治療にあたって下さっている医療従事者の皆様、関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

また、罹患された皆様に心からお見舞い申し上げますと共にご健康を祈念申し上げます。

昨年来、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響は計り知れず、国内でも緊急事態宣言の発令、それにより多くの制限や自粛が伴う一年でした。

当社でも営業時間の短縮、各種イベントの中止、在宅勤務によるリモートでの接客等、皆様には大変なご不便をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。今後も更に感染症対策を徹底しながら、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

さて、このような状況の中、茨城トヨペットは2021年11月に創立65周年を迎えます。

茨城トヨペットの基本理念は「カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち。」です。

自動車を通じて地域のお客様のお役に立ちたい、という信念・信条のもと、1956年11月の創業以来、一步また一步と歩を進めてまいりました。ひとえにご愛顧賜りましたお客様お1人お1人、そして多くのビジネスパートナーの皆様、店舗周辺の地域の皆様、ともに働いてくれるメンバーのご協力の賜物でございます。心より感謝申し上げます。

改めてこの65年を振り返りますと、多くの出来事がありました。その中で3点をご紹介します。

一つ目は、自然災害です。

なかでも東日本大震災や一昨年の台風19号では、県内でも甚大な被害に見舞われ、お客様からお困りのご連絡を多く頂戴いたしました。

私は「ピンチはチャンス」という言葉を大切にしています。大変な時こそ前を向いて、お客様が何をお求めになっいらっしゃるかを考えて行動する事が肝要です。

今後も自然災害は増えると思いますが、お客様のお困りの時に頼って頂ける会社を更に目指してまいります。

二つ目は、環境への取り組みです。

当社は2001年4月から地球環境を見据えた環境マネジメントシステム「ISO14001」に取り組みはじめました。今年で20年の節目を迎えますが、当初は世間的に環境活動への理解と認識は少なかったと記憶しています。環境問題に対する意識が世界的に高まるなか、改めて地球環境について考え、行動することの重要性を実感しています。

2006年、CSR活動に取り組みはじめ2008年

からご覧の「CSRレポート」として、当社の活動内容をまとめました。今年で14冊目になります。

昨年は残念ながら、毎年実施していた海岸清掃やスポーツ大会などを一部中止することになりましたが、そのような中でも、当社が今、出来ることに取り組み、その活動をまとめました。

まだまだやれる事、やるべき事は山積しております。このレポートをご覧頂きました皆様からの忌憚のないご意見を賜りたく存じます。

最後は社会貢献活動です。

当社ではクルマの販売、車検の入庫ごとに盲導犬基金を積み立てる活動を続け、本年度で14年目になります。これまでに7頭の盲導犬が誕生いたしました。

盲導犬たちには、障害のある方の生活に寄り添い、安全・安心な暮らしと外出がサポートできるよう、更なる活躍を期待しています。一頭でも多くの盲導犬が誕生できるように今後も継続して活動致します。

創立から65年となりますが、「まだまだ通過点、今がスタート地点」という新鮮な気持ちに変わりはありません。

私はメンバーに「いつも前向きに」、「何事にも恐れずにチャレンジして欲しい」と伝えています。

コロナ禍という大変な時期だからこそ、これ乗り越えればさらに強い会社になれると信じ、メンバーが一丸となって「お客様のために何が出来るのか」、「もっとお役立ち出来ることはないか」を考え、行動してまいります。

「1人の100歩より100人の1歩」。

今こそ、メンバー全員の力が必要不可欠です。

茨城トヨペットは今後も「地域の皆様に愛される会社」「地域の皆様に選ばれる会社」になれるよう邁進して参ります。

CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

社是

「誠実」
約束を守ること

関係法令を遵守し公正な企業活動と
環境保全を行います。

「親切」
気を配ること

社会、ステークホルダーと調和し、
信用を第一義とした企業活動を行います。

「スピード」
時間を大事にすること

既存の常識や枠組みにとらわれることなく
新たな可能性にチャレンジします。

【お客様に対して】

- 私たちは、【お客様と一生涯“笑顔”のおつきあい。】【カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち。】の
基本理念に基づき、お客様に真に満足頂ける優れた商品とサービスの提供に努めます。
- 私たちは道路運送車両法、消費者契約法、自動車公正競争規約など関連法令およびその精神を遵守し、
お客様に信頼される営業活動を推進します。
- 私たちは、個人情報保護法及びその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。
- 私たちは、お客様の要請・期待に応えることを第一と考え、公正で誠実な対応を実践し、お客様との絆を深めます。

【社会・環境に対して】

- 私たちは、環境目的・目標を定めて継続的に環境改善に努め、事業活動を通じ地球環境・地域社会との
調和ある成長を目指します。
- 私たちは、省エネ・省資源・リサイクルの推進により廃棄物を削減し、環境保護と汚染の予防に努めます。
- 私たちは、社会・経済の要請に応え、法令等を守り、「人間性尊重」の経営を実践します。
- 私たちは、コミュニティの成長と豊かな社会作りを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。
- 私たちは、交通安全対策へ積極的に取り組みます。

【取引先に対して】

- 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共栄共存の実現に取り組みます。
- 私たちは、独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守します。
- 私たちは、社会通念の範囲を超える利益の供与、申し出、約束をせず、自由で公正な取引を維持します。

【茨城トヨペットのメンバーに対して】

- 私たちは、安全で健康的な職場環境作りに努めます。
- 私たちは、労働関連法令を遵守すると共に必要な自主基準を設け管理レベルの向上を図ります。
- 私たちは、継続的な安全衛生水準の向上を目指し、『作業手順書』に沿った作業の遂行を徹底します。
- 私たちは、危険ゼロ・健康障害ゼロを目指すために、危険性又は有害性等を調査し実施事項を決定して、
事故・労働災害の未然及び再発防止を図ります。
- 私たちは、メンバーが生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神のつとりに、互いを思いやり、
それぞれの考え方や立場を尊重します。
- 私たちは、メンバーが誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう、
個々人の自己啓発・成長を支援します。
- 私たちは、機密情報を厳重に扱うとともに、適時的確な情報開示に努めます。

2018年4月13日改定

行動憲章

茨城トヨペットが実践するCSRの3本柱

1 コンプライアンス (法令遵守)

お客様の身になって考え、行動していく

個人情報保護法への対応
人権、消費者への対応

指定整備事業の適正運営
公正なビジネス慣行

【コンプライアンス】とは法律や規則な
どに従って、活動を行なうこと。

「法令遵守」を意味する語として最近広く
使われていますが、私たち茨城トヨペット
は、法令遵守を含めた「社会からの要請」
へ応えていくことが肝要と考えます。

お客様のお役に立ちたい、社会全体
のお役に立ちたい、皆さんの喜ぶ顔が見たい、
そのために、コンプライアンス、公正・透明
性の確保に取り組んでいます。

2 環境対応

次世代へ残す地球環境への提言

環境保護活動への対応
環境マネジメントの全社運用

地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚
染、水質汚濁など、今や企業にとって環境
問題は避けて通ることはできません。

私たち茨城トヨペットは環境マネジメ
ントの国際規格【ISO14001】に取り組むこと
により環境保護活動を推進し、ハイブリッ
トカー『プリウス』をはじめとした環境に配
慮した車の普及に努めています。



ISO14001登録証

3 社会貢献活動

健全で持続可能な地域社会づくり

コミュニティ参画
地域活動支援
環境活動を通しての社会貢献

私たち茨城トヨペットは、地域の皆様に
愛され続ける企業であることを宣言致します。
上記の地球環境を見据えた環境マネジ
メントシステムISO14001全事業所認証取
得に向けた継続的な活動、茨城エコ事業
所登録制度への全店舗認定。

1976年から毎年続いているふれあいグ
リーンキャンペーンでは県内の各自治体に
3,800本以上の苗木を寄贈し続けています。
「環境・地域」愛。
それが、私たち茨城トヨペットです。

History of 65 years

茨城トヨペット 65年の歩み

私たち茨城トヨペットは2021年11月1日におかげさまで創立65周年を迎えます。
当社がこうしてあるのも、ご支援を賜りましたお客様、関係各位のおかげと感謝
申し上げます。

創立から現在までの主な出来事・店舗の遷移などを年表にまとめました。
歩んできた65年を礎に、私たちは更なる発展を目指してまいります。



初代 トヨペット コロナ T10型 (1957年～1960年)

クラウンで自家用高級車の地位を築いていたトヨタが、1957年7月に発売した大衆セダン。

1956年創業当時の茨城トヨペット本社。水戸市五軒町にて24名でスタートした。

1990

バブル経済の崩壊、日本人の価値観が変わり始める。
パソコンや携帯電話が普及。

2000

21世紀を迎え、「IT革命」が本格化。
モバイル・SNSの流行で量より質を求める時代へ。

2005

クール・ビズが推進され、
地球規模の環境問題が話題に。

- 裁判員制度スタート
日本が2大会連続優勝
(2009年)
- iPhone日本初上陸
北京五輪開催
(2008年)
- 郵政事業株式会社他が発足
日本郵政公社が解散
新潟県中越沖地震
能登半島地震・
中型自動車新設
道路交通法改正により
(2007年)
- 愛・地球博が愛知県で開催
つぐはぐエクスプレス開業
自動車リサイクル法施行
(2005年)
- 新潟県中越地震
20年ぶりに新紙幣が発行
アテ五輪開催
(2004年)
- SARSが大流行
六本ヒルズオープン
(2003年)
- 通貨をユーロに統合
EU域内12ヶ国
日韓大会、茨城開催
FIFAワールドカップ
(2002年)
- 東京デイズニースー開催
大阪府にUSJ開園
アメリカ同時多発テロ事件発生
(2001年)
- シドニー五輪開催
(2000年)
- 東海特産品初の臨海事故発生
茨城新幹線全線竣工
(1999年)
- トヨタ・プリウスが発売
消費税5%に増税
(1997年)
- プリウスが大流行
アトランタ五輪開催
(1996年)
- 阪神・淡路大震災
(1995年)
- 関西国際空港開港
(1994年)
- P.K.O.協力法成立
(1992年)
- 東海道新幹線「ぞみ」運転開始
湾岸戦争勃発
(1991年)
- 豊田喜賢が1988年ぶりに噴火
明仁天皇即位の礼
東西ドイツの統一
(1990年)
- 消費税スタート
元号が昭和から平成へ
(1989年)
- ソウル五輪開催
東京チームが完成
リクルート事件
(1988年)
- 国鉄が分割・民営化（JR発足）
バブル景気が始まる
(1987年)

- トヨタ自動車(株)より2008年販売店表彰「準総合表彰」受賞
ISO14001定期審査、新たに2店 認証取得(竜ヶ崎出し山、ひたち野うしく)
2009年(平成21年)
- ひたち野うしく店 オープン
ケイタイショップPipitサントル千波オープン
(笠松運動公園、小川野田、6号取手、つくば西大橋)
ISO14001 更新審査(2回目)、新たに4店 認証取得
2008年(平成20年)
- つくば西大橋店 オープン
■ 全社で環境マネジメント取り組み開始
■ 総務部にCSR推進課設立。ISO業務を委嘱
■ ISO14001定期審査、新たに1店 認証取得(レクサスつくば)
2007年(平成19年)
- 市町村合併により一部店舗名称変更
■ 小川野田店 新築オープン
■ 笠松運動公園店 新築オープン
■ ISO14001 2004年度版(改訂規格)に移行
■ ISO14001定期審査
2006年(平成18年)
- レクサスつくば開設
(勝田昭和通、潮来)
■ ISO14001 更新審査 登録更新、新たに2店 認証取得
2005年(平成17年)
- 牛堀横利根店 潮来市に移転、「潮来店」としてオープン
■ 旧下妻たかさい店跡にU-Carセンター下妻店オープン
■ U-Carセンター6号水戸店リニューアル
(U)日立田尻、(U)6号水戸、テクノセンター)
■ (天津港、大子バイパス、笠間大鳥居、下妻、石下バイパス、神栖、守谷松並、
ISO14001定期審査、新たに10店 認証取得
2004年(平成16年)
- 「U-Carセンター水戸桜の牧店」としてオープン
■ Tupp茨城トヨペット50号水戸バイパス店現在地に移転
■ ギャラリー取手294 守谷市に移転、「守谷松並店」としてオープン
(江戸崎、岩井バイパス)
■ 本社、日立田尻、日立森山、石岡東大橋、下館神分、古河東牛谷、牛久南
■ ISO14001定期審査、新たに本社及び8店 認証取得
■ 中古車センターをU-Carセンターへ呼称変更
2003年(平成15年)
- 下妻たかさい店現在地に移転、「下妻店」としてオープン
■ 神栖南店現在地に移転、「神栖店」としてオープン
(水戸千波店・大宮バイパス店でISO認証取得)
■ ISO14001 文書審査および初回本審査
2002年(平成14年)
- トヨペット店ISO14001第1回全体会議
■ 環境マネジメントシステム取組開始
■ SIIP推進室にISO推進事務局の開設
■ 大宮上町店現在地に移転、「大宮バイパス店」としてオープン
2001年(平成13年)
- 6号取手店リニューアル
■ Tupp茨城トヨペット50号水戸バイパス店オープン
■ 業務室中古車グループ(現U-Car商品課)開設
2000年(平成12年)
- SIIP推進室新設
1997年(平成9年)
- 下館神分店 新築オープン
1996年(平成8年)
- テクノリペアセンター工場完成
1993年(平成5年)
- 江戸崎店オープン
■ 大子バイパス店オープン
1992年(平成4年)
- 本社・水戸千波店 新社屋完成・披露
■ 石下バイパス店(常総石下店)オープン
■ 本社社屋上棟式
1991年(平成3年)
- 各拠点の名称変更(営業所↓店)
■ 岩井バイパス店(坂東店)オープン
1990年(平成2年)
- 勝田昭和通り店(現・ひたちなか昭和通り店)オープン
1989年(平成元年)
- 牛久営業所(現・牛久南店)オープン
■ 石岡営業所(現・石岡東大橋店)現在地に移転オープン
1988年(昭和63年)
- 日立南営業所(現・日立森山店)オープン
■ 古河営業所(現・土河東牛谷店)オープン
1987年(昭和62年)



勝田昭和通り店(現ひたちなか昭和通り店)オープンイベントチラシ



創立35周年を記念して建てられた本社新社屋の竣工披露会



石岡営業所(現在の石岡東大橋店)



現在の石岡東大橋店のショールーム



神栖店



現在の神栖店のショールーム



レクサスつくば



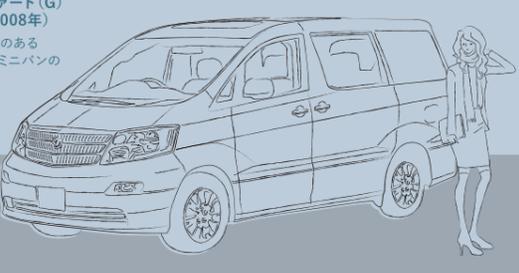
2008年販売店表彰「準総合表彰」受賞式



現在の小川野田店のショールーム



初代 ハリアー
(1997年~2003年)
高級感を追求した
ラグジュアリーな
クロスオーバーSUV
として登場。



初代 アルファード(G)
(2002年~2008年)
上品で高級感のある
トヨタ最上級ミニバンの
登場。

With The Staff

それぞれが個性を活かし、 イキイキと働ける環境を作るために

茨城トヨペットではきめ細やかな独自の教育、研修システムを導入し、社員ひとり一人の個性と人間性を活かした能力開発を推進しています。そして、社員が充分に実力を発揮できる環境をさまざまな角度から検討し、構築しています。

「子育てサポート企業」として くるみんマークに認定

次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。この認定を受けた企業の証が、「くるみんマーク」です。茨城トヨペットでは、2016年2月に認定を受けています。



安全衛生委員会の設置

2007年12月より労働安全衛生法等、関連法令及び当社の就業規則第78条(安全衛生管理体制)に基づき「安全衛生委員会」を設置しました。当委員会では、当社における安全衛生の充実を図り、社員の安全と健康を確保するとともに快適な職場環境の形成を促進することを目的としています。

2019年4月より「働き方改革」の一環として、社員が効率的に働き、しっかり休むための各部署の取り組みを展開し、全体の意識向上を図る議論にも積極的に取り組んでいます。

ハラスメントの防止

パワハラ・セクハラ等、個人の尊厳を不当に傷つける行為は絶対に許さない決意「ハラスメントは許しません!!」を全社に宣言しました。

ワーク・ライフ・バランスの 推進

組織の活性化と総労働時間短縮を図るための勤務体系づくりとして、本社では「フレックスタイム勤務」、営業店舗では「時間差勤務」を導入しております。また「働き方改革」に先駆けて、2017年8月より「計画年次有給休暇制度(年間6日間)」を導入しております。計画的に有給休暇の申請をする事で家族や友人と旅行に出かけるなど、心身の疲労感をリフレッシュする良い機会として活用されています。

このように、仕事と生活のバランスのとれた“ワーク・ライフ・バランス”の実現を推進しております。

社内サービス技術 コンクールを開催

“茨城トヨペットファンづくり”を根底で支えるサービスエンジニアが、“希望”と“やりがい”を持ちながら生きいきと働ける環境を整備すると同時にさらなる技術向上を目的に、サービス技術コンクールが開催されています。



※写真は昨年度のもので、本年度のサービス技術コンクールは新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

当社の求める人材像

常に豊かな人間性と向上心を持ち、社会の発展に貢献できる人材へ

- 1.短期的視点に限らず、中長期的な視点で仕事に取り組める力!!
- 2.人と人のつながりを大切に、自ら考え主体的に行動できる力!!
- 3.幅広い見識を持ち、常に前向きにチャレンジできる力!!

教育研修体系概要(一般スタッフ対象)

年齢目安	研修講座名	
55歳～	●キャリア・デザイン【II】	定年後も再雇用される為に必要な現有能力を確認する 年金の基礎知識、再雇用チャレンジ制度についての理解を促進する
45歳～50歳前後	●キャリア・デザイン【I】	自立に向けた10年後の職場生活を踏まえたキャリア開発の シナリオ作りの知識と技術の習得を目指す
30歳～40歳前後	●キャリア・ディベロップメント	自分の中核能力を理解し、今後どのように組織に貢献できるかを考える
5年次 24歳～26歳	●中堅社員研修	セルフコントロール手法とリーダーシップについて学ぶ
	●思考力向上	ビジネスパーソンに必要な論理的な思考能力を身につける
4年次 23歳～25歳	●キャリア・メイキング	キャリア開発に必要な考え方やスキルを習得し、 これからのキャリアビジョンを考える
3年次 22歳～24歳	●コミュニケーション強化【知識】	ビジネスコミュニケーションの基本を身につける
2年次 21歳～23歳	●キャリア・プランニング	自分の可能性を広げる為のキャリア形成に関する基本的な考え方を身につける
	●CSマインド	お客様満足度(CS)を高める為に必要な考え方や実践ポイントを理解する
1年次 20歳～22歳	●メンタルヘルス【基礎】	各種ストレスに対するセルフケアのポイントを理解する

■管理職(店長、GM、課長、サービスマネージャー)対象の教育研修は別に定めています。

Society & Global

持続的な発展を実現する社会をめざして

私たちは、事業の特性を活かした車両提供、盲導犬の育成協力など、茨城トヨペットならではの特徴的な活動を実施するほか、スポーツ・教育支援活動など、地域との共生を図る様々な活動も行っています。

こうした活動を持続的に行うことは、私たちが事業活動を営む重要な基盤になっています。

私たちが住む地球は、地域固有のものから世界規模に至るものまで、さまざまな環境問題に直面しています。それらが深刻化していく中で、多くの企業が持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。

私たち茨城トヨペットは、企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減を通じて、持続可能な社会の発展と地球環境保全に貢献していきます。



茨城トヨペットのCSR活動推進体制



With The Community

茨城トヨペットの社会貢献活動

これからも、地域に密着した企業市民として

茨城トヨペットは、企業市民として各事業所周辺の皆さまとの交流を深め、地域社会の活性化、自然保護、文化的貢献など幅広い方面での社会貢献を追求しています。

今後も、地域市民の皆様の声に耳を傾け、より豊かなまちづくりのため、地域市民の皆様とともに積極的な活動を進めます。

茨城県および水戸市に 新型コロナウイルス感染者搬送車 計5台を貸与



茨城トヨペットは令和2年5月15日、新型コロナウイルス軽症者を搬送するための車両計5台を茨城県及び水戸市に無償貸与いたしました。

貸与車両は患者が乗り降りしやすく広い空間を確保できる観点からエスクエアを使用し、主に軽症者の搬送に使われる予定です。

車内はカーエアコンのノウハウを活用した仕切りを設け、前後に陰圧の空間を実現することで運転席側への飛沫(ひまつ)感染を防ぐ特殊構造となっております。

トヨタ未来スクール (旧トヨタ原体験プログラム)



「未来を子供たちの担うこともたちの可能性は大きくみたい。」わたしたちはそのような想いから、2010年より県内の小学校へ出張授業「原体験プログラム」をお届けしてきました。

2021年春、これまでの約10年の実績を糧に、名称を「未来スクール」へと変更し、新たなスタート切りしました。最先端のテクノロジーから身近なくらしや地球のことまで、トヨタの仕事を通した学びや発見は多様です。だからこそ、きっと子供たちに一人一人の興味や関心を刺激できるはずです。

トヨタ未来スクール ホームページ
<https://www.toyota.co.jp/miraischool/index.html>

※写真は過去の旧原体験プログラムのようす。新型コロナウイルスの影響により、2020年度の原体験プログラムは全て中止となりました。

すべての人に快適な移動の自由を提供 ~福祉車両「ウェルキャブ」販売~

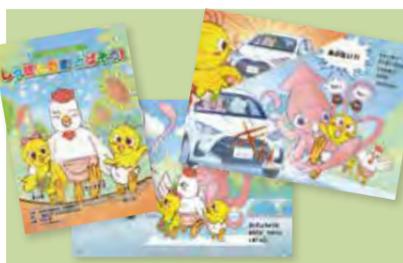


「すべてのお客様に移動する自由をもっと身近に、もっと快適に感じてもらいたい。」という願いを込めて、2013年4月につくば西大橋店にウェルキャブステーションを設置しました。

トヨタの福祉車両(ウェルキャブ)は、お客様一人ひとりの様々な事情や使い方に合わせたカスタマイズによるきめ細やかな対応が可能です。

ウェルキャブステーションでは、ウェルキャブ車両の常設展示や専門スタッフによる適切なアドバイスをしています。

幼児向け交通安全教材の贈呈



社会貢献活動の一環として県内の幼稚園や保育所に、交通安全の大切さを楽しく学べる教材をプレゼントしています。

本年度は交通安全絵本及び紙芝居を贈呈。紙芝居では、道路への急な飛び出しの危険性・雨の日の通行方法について、株式会社トヨタ名古屋教育センター(中部日本自動車学校)が開発した、ひよこをモチーフとしたキャラクター「クック」を用い、分かり易く説明したものです。

加えて、絵本では、保護者向けに幼児の事故実態やチャイルドシートの必要性について解説しています。

2008年 茨城県初、介助専門士を配置及びAEDを全店に設置



茨城トヨペットでは、ご来店いただいたすべてのお客様が安全、安心かつご不便なく快適に店内をご覧いただけるように、介助の正しい知識と技術を習得した「介助専門士」の資格を持つスタッフを店舗に配置し、ご高齢の方や体が不自由なお客様はもちろん、どなたでも安心してご来店いただきご相談できるお店づくりを実践します。

また、全店にAED(自動体外式除細動器)を設置し、社員やお客様の安全確保に努めています。

クルマと一緒に楽しくらし 季刊情報誌「さんさん」発行



茨城トヨペットでは、ユーザーの皆様へ、車についての知識、関心を深めていただきますとともに、楽しく快適なカーライフをお送り頂くことを目的に、季刊情報誌「さんさん」を刊行し、希望のお客様に郵送しています。

本冊子は茨城トヨペット各店のショールームでも無料配布しております。また、「さんさん」のバックナンバーは、茨城トヨペットホームページにてご覧いただけます。



茨城トヨペット さんさんバックナンバー
<https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/CSR/sunsun>

「盲導犬育成基金」を積立て(公財)日本盲導犬協会へ寄付

茨城トヨペットでは「車両ご購入」「車検ご入庫」1台ごとに売上の一部を盲導犬育成基金として積立てております。ご購入いただきました皆様も「CO₂の削減に貢献する車を普及」させると同時に積立金を通じ盲導犬の育成にご協力いただいていることとなります。



盲導犬育成を行い、その頭数が年々増加をしていく一方で、盲導犬を受け入れる社会自体の理解は十分とはいえません。盲導犬とともに一人でも出かけられるようになったにもかかわらず、お店や交通機関で利用を断られてしまっただけは何の意味もありません。盲導犬をはじめとする補助犬の受け入れをスムーズに行い、身体障がい者の社会進出と自立を促進することを目的として定められた身体障害者補助犬法は、補助犬と一緒に生活している身体障がい者のアクセス権を保障するものです。どうぞご理解ください。



各店舗には募金箱も設置しております。

2020年10月1日(木)、盲導犬育成基金贈呈式にて2019年度に積み立てられた盲導犬育成基金・募金2,935,574円を寄付いたしました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。今後も「盲導犬育成基金・募金」へのご理解・ご協力よろしくお願いたします。

人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ
 公益財団法人日本盲導犬協会
<https://www.moudouken.net>



Event

茨城トヨペットは、地域の皆様との交流を深めるとともに、地域活性化を目的とした各種施策・イベントの企画・実施、各種イベントへ車両提供などの活動を展開しています。



茨城トヨペット サッカースクール



茨城トヨペット バasketボールスクール



茨城トヨペット杯 ゲートボール大会



茨城トヨペット スケート教室



水戸市元旦マラソン大会



常陸大宮クロスカントリー大会 兼 みんなで楽しくグリーンウォーキング



スマイルファンミーティング in もてぎ



かすみがうらマラソン 兼 国際盲人マラソンかすみがうら大会



水戸黄門漫遊マラソン

イベントや各種情報は茨城トヨペット公式SNSでチェックできます!



2020年度は、新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大を防止するため、ほとんどのイベントが中止・延期となりました。各イベントの開催を楽しみにされていた方々には誠に申し訳ありませんが、ご理解のほどお願いいたします。

For The Earth

茨城トヨペットの環境保全活動

環境活動の国際規格、ISO14001認証取得

資源枯渇や地球温暖化など、地球環境問題に対する取り組みは現代を生きるすべての人が考えなければならない問題です。

節電を心がける、ゴミを減らすように分別をする、買い物もエコバッグを持参する。それは個人も企業も同じことです。だからこそ、個人よりも環境に対する負荷の大きい企業や自治体は、環境へ負荷をかけない仕組み＝「環境マネジメントシステム」を構築する必要があります。それを国際的な規格

として制定し認証するような仕組みにしたものが、**環境マネジメントシステム【ISO14001】**です。

茨城トヨペットでは、2001年4月に「環境委員会」及び委員会をサポートするチームとして「ISO推進事務局」を発足、環境マネジメントシステムの取り組みを開始しました。

「販売」「整備」「廃棄」にかかわる過程での環境影響に対応するため、【低燃費・低排出ガスの社会への提供】【廃油・廃部品の適正処理】【テクノ

ショップの管理】【CO₂の削減】などの環境目標を設定しました。(P20・21参照)

設定した環境目的・目標が計画通りに進んでいるか、決まりや手順がきちんと運用されているかをチェックするため、毎年10～11月に【内部監査】、翌1～2月には当社の環境マネジメントがISO14001の要求事項に適合して構築・運用されていることを確認する第三者機関による【定期審査】が行われます。

茨城トヨペットでは、2001年度にまず2店舗の「ISO14001」認証を取得。2002年度に本社及び8店舗、2003年度には10店舗、と順次認証範囲を拡大、2021年4月現在本社及び35事業所のISO14001認証を取得しています。



ISO14001認証拠点

本社、水戸千波店、大宮パイパス店、日立田尻店、日立森山店、牛久南店、筑西神分店、石岡東大橋店、江戸崎店、古河東牛谷店、坂東店、大津港店、大子パイパス店、笠間大鳥居店、下妻店、常総石下店、神栖店、守谷松並店、ひたちなか昭和通り店、潮来店、テクノセンター、U-Carセンター6号水戸店、笠松運動公園店、小川野田店、つくば西大橋店、6号取手店、竜ヶ崎出し山店、ひたち野うしく店、神栖知手店、土浦荒川沖店、つくば東大通り店、土浦並木店、U-Carセンター6号みのり店、つくば学園の森店、他2事業所(本社及び、35事業所)(2021年4月現在)

茨城エコ事業所認定



「茨城エコ事業所」
シンボルマーク

茨城エコ事業所登録制度は、事業所の規模や業種等に関わらず、環境に配慮した取組を行う事業所を、茨城県が「茨城エコ事業所」として登録して、その取組を広く県民の皆様を紹介することにより、環境に配慮した取組の普及・啓発を図り、環境への負荷の少ない循環型社会づくりに寄与することを目的としています。茨城トヨペットは、2008年10月14日付けで茨城エコ事業所として登録認定されました。

2020年度環境指向型事業場表彰



関東運輸局より、環境対策への取り組みが積極的に優良な事業場として、つくば学園の森店が関東運輸局長賞を受賞しました。

社用車をハイブリッドに



茨城トヨペットは地球環境保護活動の一環としてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。社用車として、「プリウス」や「アクア」などハイブリッドカーを多数使用しています。

Event



ふれあいグリーンキャンペーン
(年1回開催)



トヨタソーシャルフェス
(年2回開催)

地域に根ざした環境保全・緑化活動として“人の心に緑の憩いを”をスローガンに、トヨタ自動車(株)と共同で1976年より毎年展開している「ふれあいグリーンキャンペーン」や、全47都道府県でよりよい未来をつかっていこう、という未来創造型のアクティビティ「トヨタソーシャルフェス」などの環境保全活動を毎年展開しています。

※写真は過去のイベントのものです。新型コロナウイルスの影響により、2020年度のプログラムは中止となりました。

For The Earth

茨城トヨペットは地球のため未来のために子どもたちのために毎日実践しています

サービスエンジニア

- 整備技能向上を図るため全エンジニアが「トヨタ技術検定」1級取得を目指し取り組み

油水分離槽

- 工場から出る排水はこちらで油分と水に分離
- 毎週、汚れ・油浮きを点検・定期清掃実施

ゴミ置場

- 日頃より廃棄物置場の4S(整理・整頓・清掃・清潔)・分別を推進
- 各廃棄物は廃棄物置場にあるそれぞれの容器に分別・細分化して保管
- 指定業者にて適正処分
- 産業廃棄物管理票(マニフェスト)で処分を確認

社用車

- CO₂排出量の削減を目的として社用車にハイブリッドカーを使用
- 運転は「エコドライブ」を徹底

テクノショップ

- 日頃から「汚さない作業」と、「汚したらその場で清掃」の徹底
- オイルをこぼしてしまった時はウエスですぐ拭き取る
- 定期的にオイル流出等緊急事態を想定した訓練を実施
- 自社钣金工場での内製化を推進

■使用したオイルが漏れないように工夫しています

廃油タンク

- 日常点検で毎日廃油の漏れ、保管量を確認

部品庫

- 廃棄物の削減、省資源を目的としたトヨタかんぱん方式による在庫部品管理

■特定施設(エアコンプレッサー・門型洗車機)の騒音で近隣に迷惑をかけていないか点検実施

■その他夜間照明・臭い・埃等で迷惑をかけていないか点検

■燃料消費削減のための「待ち車検」の推進

■AEDの設置

■盲導犬募金箱の設置

■解約した古い携帯電話のお引き取り

看板

- センサー付タイマーで無駄な電力使用を削減

ショールーム

- お客様のお車の燃費性能維持を目的とした「スマイルパスポート」の販売
- 積極的に蛍光灯照明器具をLEDに切り替え

地域コミュニケーション

- 「子ども110番の店」事業を展開
- 毎月1回地域周辺のゴミ拾いを実施

事務所

- CO₂削減のためエアコン温度の設定及び管理(クールビズ・ウォームビズの実施)
- 事務用品はグリーン商品を積極的に購入
- 個人情報はシュレッダー処理
- 積極的に古紙のリサイクルを実施

休憩・会議室

- CO₂削減のため、未使用場所・昼休み・休憩時間等の消灯を徹底

クールビズ
古紙のリサイクル

茨城トヨペットが実践する 環境保全・地球温暖化防止の取組み

地球のため、地域のため、未来のために 環境保全に自主的かつ積極的に取り組んでいます。

1 低燃費・低排出ガス車の社会への提供



1997年、世界初の量産型ハイブリッドカーとして誕生したプリウス。発売以来、日本国内はもとより世界中でたくさんのオーナーの方々に愛されています。
茨城トヨペットでも、この世界最高の環境性能を追求したプリウスをはじめとする環境にやさしいハイブリッド車をお客様にお届けしています。

2020年度
ハイブリッド車販売台数 **3,076台**

2 安心品質のお車の提供

下取したお車の徹底した事前点検と社内クリーニング、エンジンオイルやエレメント交換等の整備を行い、次のお客様に高品質かつ安心の中古車をお届け。トヨタならではの「3つの安心※1」をセットにしたトヨタ認定中古車も数多く取り揃えるなど、環境保全型ビジネスを推進しています。



※1:車両検査証明書、まるごとクリーニング、ロングラン保証

2020年度
U-Car小売台数 **2,937台**

3 お客様のお車の燃費性能維持



茨城トヨペットには、レースや技術コンクールに出場し、腕を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。トヨタブランドの高い品質と確実な作業で、お客様の愛車の点検・車検整備をスピーディに実施いたします。
また、燃費性能維持、お客様が快適にお車をご使用いただくために、定期的なメンテナンスをサポートするメンテナンスパックメニュー「スマイルパスポート」をお勧めします。



2020年度
車検入庫台数 **34,054台**
スマイルパスポート
会員数※2 **42,152件**

※2:2021年4月現在

4 廃油・廃部品の適正処理



環境保全は発生源対策が基本と考え、事業活動全般の領域で省資源化・分別、リサイクル推進と廃棄物の削減、汚染の予防に努めています。
お車を快適な状態に保つための点検・整備の結果、廃油、冷却水、ガラスくず、廃プラスチック、バンパー、バッテリー、金属類とさまざまな廃棄物が発生します。これら廃棄物の発生量をおさえるため、廃棄物保管所では廃棄物の種類ごとに分別することでリサイクルしやすくしています。

廃棄物の種類と主な処分方法

古紙・ダンボール・新聞紙・雑誌等	新たな紙製品に再生
樹脂バンパー【トヨタ車のみ】	自動車部品に再生
バッテリー	回収後リサイクル
廃油	重油に再生
金属部品	金属製品に再利用
プラスチック類/ガラスくず及び陶磁器くず/電池/冷却水/シュレッダーくず	回収後、適正に処分(一部リサイクル)
タイヤ	工場燃料に利用
ガラス/蛍光管	ガラス製品に再生

また、缶圧縮機を全拠点に配備。オイルの缶やオイルフィルターは圧縮することで容量を大幅に減少します。このような活動の結果、2020年度の1店舗あたりの産業廃棄物処理費用は2001年度比49.4%まで圧縮できました。



産廃処理費用推移

	01年度【基準年】	17年度	18年度	19年度	20年度
産廃処理費用	20,611	10,897	12,926	13,074	12,290
1店舗当たり(2001年比)	606	272 (44.9%)	323 (53.3%)	327 (53.9%)	300 (49.4%)

単位:千円

5 省電力



新店舗や改築時の省電力タイプ照明・冷暖房器具の採用、こまめな消灯やクールビズ・ウォームビズの導入による冷暖房の温度調整などの励行を行い省電力に努めています。
2020年度の1店舗あたりの使用電力量は2001年度比で62.7%でした。

使用電力量推移

	01年度【基準年】	17年度	18年度	19年度	20年度
使用電力量	4,549,165	3,477,086	3,424,837	3,508,406	3,406,465
1店舗当たり(2001年比)	126,366	82,788 (65.5%)	79,647 (63.0%)	81,591 (64.6%)	79,220 (62.7%)

単位:kwh

6 燃料使用量



当社で使用したガソリン、軽油、灯油などの燃料を原油に換算して年度ごとの使用量を把握しています。社用車、営業車などの車両用としての使用が主な内訳です。低燃費車プリウスの導入やエコドライブなどによる削減を実施しています。
2020年度の1店舗あたりの原油換算使用量は、2001年度比で46.7%でした。

燃料使用量推移

	01年度【基準年】	17年度	18年度	19年度	20年度
原油換算使用量	1,081,007	757,117	693,322	543,028	574,739
1店舗当たり(2001年比)	30,028	18,466 (61.5%)	16,910 (56.3%)	13,245 (44.1%)	14,018 (46.7%)

単位:l

7 CO₂排出量

電力使用量、燃料使用量削減の結果、1店舗あたりのCO₂排出量も削減しています。
2020年度の1店舗あたりのCO₂排出量は、2001年度比で47.2%でした。



CO₂排出量推移

	01年度【基準年】	17年度	18年度	19年度	20年度
CO ₂ 排出量	5,340	3,022	3,035	3,226	2,872
1店舗当たり(2001年比)	148.3	71.9 (48.5%)	72.3 (48.7%)	75.0 (50.6%)	70.0 (47.2%)

単位:t-CO₂(二酸化炭素トン):さまざまな温室効果ガス(CO₂、メタン、一酸化二窒素など)をCO₂に換算し、t(トン)単位で表示した値。

※2006年度より政府によって公表された電力会社の実績値を用いて算定を行うことが出来るため、電力部分の算定に出力調整係数を使用しています。

8 古紙リサイクルの推進



茨城トヨペットでは、オフィスから出る紙をリサイクルする取り組みを2009年度より始めました。
2020年度は樹齢30年の木約4,294本分※3がリサイクルできました。

2020年度
古紙リサイクル量(全店) **214,690kg**

※3:50kgの紙は樹齢30年の木1本分とされています。

9 トヨタ技術検定

トヨタの技術力を支えるサービススタッフ。茨城トヨペットには技術を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。



2020年度 トヨタ技術検定1級保有状況

保有者数	保有者比率	店舗あたり
182人	64.1%	4.7人

2020年度 トヨタエスティメーション(钣金見積り)検定1級保有状況

保有者数	1級在籍店舗比率
151人	100%

●2001年度は環境マネジメント導入開始年のため、全てのデータで基準年度としています。

環境目的・目標

	環境目的	環境目標	環境影響	評価	
ビジネスの推進	低燃費・低排出ガス車の社会への提供	低燃費車・電動車の普及	地球温暖化防止	△	
	安心品質のお車の提供	U-Car販売の促進	大気汚染予防	△	
	お客様のお車の燃費性能維持	車検入庫台数 目標達成	資源枯渇低減	△	
	安心品質のお車の提供・省資源の推進	钣金整備台数の向上及び再修理率の低減	資源枯渇低減	△	
活動	環境保全型	盲導犬基金への協賛	社会貢献 盲導犬の普及	△	
		新車受注毎の積立 U-Car販売毎の積立 車検ご入庫毎の積立	資源枯渇低減	○	
	環境保全	CO ₂ の削減	電気使用量の削減 燃料使用量の削減	地球温暖化防止/資源枯渇低減	○
		省資源の推進	古紙リサイクルの推進 蛍光灯リサイクルの推進	森林保護 資源枯渇低減	○
管理	テクノロジー	廃棄物の適正処理	生活環境の保全/公衆衛生の向上	○	
		エアークンプレッサー・洗濯機の騒音管理	健康障害予防	○	
	緊急事態への対応	油水分離槽の点検・定期清掃実施 緊急事態発生時の対処方法訓練実施	水質保全/公害防止	○	

※撮影の際マスクを外しておりますが、十分に感染防止に配慮いたしております。

Corporate Information

茨城トヨペットは
お客様のカーライフを
県内全域に及ぶ安心のネットワークで
トータルサポートいたします。



本社

会社概要

設立 1956(昭和31)年11月1日
代表取締役社長 幡谷定俊
資本金 5,000万円
従業員 750人(2021年4月現在)
事業内容 新車販売、中古車販売、自動車買取、自動車整備、
保険代理店業、通信機器販売、通信設備施工、
レクサス事業、カーシェアリング事業、クリーニング事業

営業状況(2021年3月期)

売上高 379.3億円
新車販売台数 7,731台 U-Car小売台数 2,920台
車両総整備台数(社外) 221,467台 車検整備台数 34,054台



1 大津港店* 北茨城市関町神岡下339-1 0293-46-5551	2 日立田尻店* 日立市田尻町4-36-1 0294-42-9611	3 日立森山店* 日立市森山町5-1-8 0294-52-6306	4 大子バイパス店* 久慈郡大子町油田1312-2 0295-72-5671	5 大宮バイパス店* 常陸大宮市水517-6 0295-52-1171	6 笠松運動公園店* ひたちなか市佐和2335-7 029-285-4111	7 ひたちなか昭和通り店* ひたちなか市中根888-1 029-272-5671
8 水戸千波店* 水戸市千波町2028-1 029-241-1121	9 アートタワー水戸店* 水戸市泉町2-4-1 029-226-9311	10 土浦並木店* 土浦市上坂田1468 029-862-3111	11 土浦荒川沖店* 土浦市荒川沖471-1 029-842-1234	12 つくば東大通り店* つくば市水745-2 029-852-3234	13 つくば西大橋店* つくば市西大橋648-3 029-858-2850	14 つくば学園の森店* つくば市学園の森3-7-1 029-856-7211
15 ひたち野うしく店* 牛久市ひたち野東1-24-4 029-871-4361	16 牛久南店* 牛久市牛久町822 029-873-3936	17 竜ヶ崎出し山店* 龍ヶ崎市野原町79 0297-62-7631	18 笠間大鳥居店* 笠間市板合100-1 0296-74-4511	19 石岡東大橋店* 石岡市石岡2930 0299-23-2291	20 小川野田店* 小美玉市川戸1353 0299-58-2831	21 神栖店* 神栖市堀割3-3-8 0299-92-5420
22 神栖知手店* 神栖市知手3106-19 0299-95-1121	23 潮来店* 潮来市上戸304-1 0299-64-6010	24 江戸崎店* 稲敷市江戸崎甲2561-1 029-892-5671	25 筑西神分店* 筑西市神分393-1 0296-24-5311	26 古河東牛谷店* 古河市東牛谷492-5 0280-98-0500	27 下妻店* 下妻市田下661 0296-43-3706	28 常総石下店* 常総市新石1648-1 0297-42-0567
29 坂東店* 坂東市迎田1402-73 0297-36-0567	30 6号取手店* 取手市井野台4-1-1 0297-74-8111	31 守谷松並店* 守谷市松並2000-42 0297-46-3511	32 U-Carセンター土浦高津店* 土浦市上高津726-3 029-823-6116	33 U-Carセンター6号水戸店* 東茨城郡茨城町長岡4255-3 029-292-7221	34 U-Carセンター6号みのり店* 小美玉市西郷地1531-7 0299-48-2070	35 GR Garageつくば* つくば市学園の森3-2 029-859-5586
36 レクサスつくば* つくば市竹園1-4-3 029-855-7301	37 レクサスCPOつくば* つくば市西園418-59 029-861-1150	38 WASH&FOLD水戸千波店* 水戸市千波町1913-5 029-241-4040				

環境活動の国際規格、ISO14001認証取得
茨城県内のトヨタディーラー唯一のISO取得。
茨城トヨペットはこれからも積極的に環境問題に取り組んでいきます。
★ISO認証店舗(適用範囲:自動車の販売、整備及び修理)

常総中妻店は つくばみどりの店へ 移転リニューアルオープン

2021年5月、常総中妻店は「つくばみどりの店」へ移転リニューアルオープンいたしました。
スタッフ一同、より一層のサービス向上に努めてまいりますので
今後ともご愛顧いただけますようお願い申し上げます。



※写真はイメージです。



つくばみどりの店 〒305-0881 つくばみどりの2丁目39-3 TEL.029-836-8868

au 茨城トヨペットは全店で
au携帯電話がご購入いただけます。

※GR Garage つくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば、WASH&FOLDを除く。



Message From Readers

前号(茨城トヨペットCSRレポート2020)にて
お客様から寄せられた

ご意見・ご感想

本誌へのご感想

- 貴社と社会貢献・環境対策を結びつけて考えた事が無かった為、様々な活動をされている事を知り感心しました。
- 企業が社会的な貢献に努力している姿がうかがえて参考になります。
- 薄いですが中身の濃い本ですね。全部目を通しました。
- ISO14001についてまんがで説明するなどわかりやすくてよかったです。
- 長きにわたり、地球環境、地域活動を大切に年間を通してたくさんのイベントに参加、協力していることが信頼に繋がっているんですね。
- 御社の一生涯笑顔のお付き合いと快適安全という基本理念がしっかりと営業の方に浸透している良い会社だと実感しています。
- 盲導犬に関する記事を読んで、茨城トヨペットが社会貢献されていることを知り、ますます、車を購入するなら茨城トヨペットを選びたいと思いました。
- 地域活動をP8~11を見て、あらためて感心しました。販売店前歩道の草が出てないことで良い会社とっていました。
- 御社の実践するCSRの3本柱が集約された上級の冊子だと思います。企業の発展の源は、CSRが出来ての結果だと思います。
- 盲導犬のことなど、車と直接関係のないところにもページをさくところに関心しました。

茨城トヨペットへのご意見

- 車の販売だけでなく、様々な分野で幅広く社会貢献をしている姿はとて素晴らしいと思います。これからも続けていって欲しいと思います。
- 茨城のトップ企業として文化活動(郷土史料、クラシックカー保全等)も期待します。
- 64年になる茨城トヨペットの歴史は茨城の車の歴史ではないかと思えます。幡谷社長を中心により茨城をリードする会社になってもらいたいと思っています。それが茨城の魅力になると思うからです。
- 6ヶ月点検毎に牛久南店にお世話になっておりますが、営業・フロント・整備の方々に良く対応していただき、満足しております。
- 使用可能な中古部品の活用を要望します。リサイクルにもなるのではないのでしょうか。
- 利用している店舗は「おもてなし」が各所にみられてとても気持ちが良いです。
- スマイルパスポートを利用して先月点検をしていただきました。待ち時間に、アイスコーヒーをいただいたらストローが紙製品でびっくり。大事なことです。
- 神栖市には中央アリーナ、中央公園と広い場所があるので、ぜひ神栖市でイベントの開催を希望します。
- 自然保護、地域社会の活性化、社会貢献と様々な活動をされている茨城トヨペットにこれからも期待と私も何かできることを実行していこうと思いました。

読者の皆様が 環境や地域社会へ取り組んでいること

- 地域ボランティアの一員として美化・保全活動に一助、取りこんでおります。
- ゴミが少なくなる様子サイクルを心がけたり時々ですが登校の見守り、をしています。地域に目を向ける様にしています。
- 古新聞やダンボールを子供の回収に出したり、古切手の回収、ベルマークの回収に参加しています。ペットボトルや牛乳パックなどの回収・リサイクルも忘れずにしています。
- ひとり暮らしのお年寄りの買物や病院の送迎をしています。
- エコバッグは必ず持ち歩いている。
- 社会福祉協議会のボランティアとして毎月月例会と老人施設訪問を実施していますが、今年度はコロナの関係で施設訪問が出来ません。(古紙、新聞、ペットボトル、アルミ缶、店舗(スーパー)へ持ち込んでいます。)
- 高齢ですので無事故を生涯の目標として運転しています。安全運転のコツなどレポートにのせて下さい。
- 地域への一斉清掃小中学校への廃品回収事業。
- マイバック持参と急停車、急発進しないエコドライブの促進。
- 道路や公共施設のごみの清掃活動を実施しております。特に不法投棄を重点的に実施します。

たくさんの貴重なご意見・ご感想、ありがとうございました。

ご意見・ご感想をお聞かせください!

「茨城トヨペット CSRレポート 2021」を最後までお読みいただき、ありがとうございました。皆様からのご意見・ご感想などを本誌に付属の専用はがき(切手は必要ありません)にてお送りください。いただいたご意見・ご感想は今後の改善に活かしてまいります。

おハガキをいただいた方の中から 毎月抽選で10人の方に
MOTTERU×茨城トヨペットのコラボアイテム
クルリト ランチバッグを1つプレゼント致します。

■抽選期間:2021年6月~2022年5月

■当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

■お寄せいただいたアンケートのお答えご意見は、次回発行の「茨城トヨペットCSRレポート」に掲載させていただく場合があります。予めご了承ください。(個人名等は掲載いたしません)
※ご応募いただいた方の個人情報は、プライバシー保護を遵守し、収集させていただいた個人情報は、プレゼントの発送業務以外には使用致しません。

MOTTERU × Toyopet



クルリト ランチバッグ

コンビニ弁当と飲み物、更にデザートを入れても十分なサイズ & 容量の使いやすく携帯しやすいコンパクトなバッグです。大人気のクルリトシリーズの特徴である一瞬でコンパクトに畳めるゴムパーツも採用し、携帯性も兼ね備えた仕様です。

■バッグのデザインは変更になる場合があります。



クルリト ランチバッグについて詳しくはこちら (YouTubeの説明動画になります)

本体/約270×300mm(持ち手含む440mm)
持ち手/約50×140(mm)
折りたたみマチ/約190(mm)
容量:約10L
素材:ポリエステル



CSR REPORT 2021

茨城トヨペットCSRレポート2021